

中部地方整備局管内の渇水状況（概要）

（平成29年7月31日 第1回渇水対策本部）

- 中部地整管内では、5月以降の少雨により、河川の流量が少ない状態が長期にわたり断続的に発生している。
- 矢作川水系、櫛田川水系、宮川水系、大井川水系及び天竜川水系では、河川の流量が少ないことに伴い、水源施設であるダムからの補給が継続して行われていることから、貯水量の低下が続いており、水利用等への深刻な影響を回避するため、取水制限が行われている状況である。
- 特に、矢作川水系では、先ほど河川管理者と利水者等による協議会において、取水制限を強化することが決定されたところであり、今後も少雨が続けば、最悪の場合、9月中にはダムが枯渇し、水利用等に深刻な影響を与えることも想定される。
- また、櫛田川水系では、蓮ダムからの放流量を減少させていることに伴い、河川の流況が非常に悪い状況が断続的に発生している区間がある。
- そのため、豊橋河川事務所、三重河川国道事務所、矢作ダム管理所及び蓮ダム管理所では、渇水対策支部を設置し、自治体や関係機関との情報共有に努めるとともに、水源状況や河川環境の監視に努めているところである。
- 7月27日に名古屋気象台が発表した東海地方の1ヶ月予報によると、降水量は、ほぼ平年並の見込みとなっているが、今後も少雨傾向の状況が継続すると、最悪の場合、河川環境の悪化や取水制限の強化による社会活動への影響等が発生することも懸念される。

【参考】貯水池の状況及び取水制限の影響

○矢作ダム(矢作川水系)の状況

矢作ダムの貯水率は、7月31日7時現在、約43%(平年の約5割程度)となっています。



5月18日の貯水状況



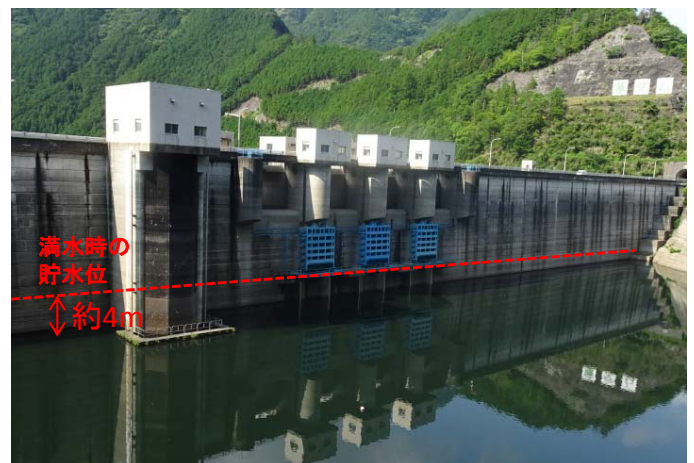
7月28日の貯水状況
(貯水率42.9% 平年の約52%)

○蓮ダム(櫛田川水系)の状況

蓮ダムの貯水率は、7月31日7時現在、約63%(平年の約7割程度)となっています。



5月16日の貯水状況



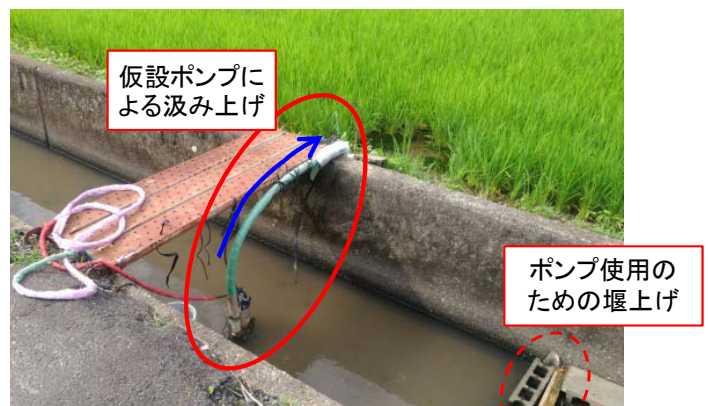
7月31日の貯水状況
(貯水率63.7% 平年の74%)

○櫛田川から取水している農業用水の状況

櫛田川水系では、取水制限の影響により、農業用水の末端で取水が困難な状況が発生しています。

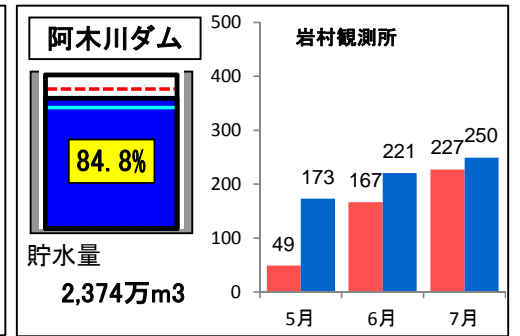
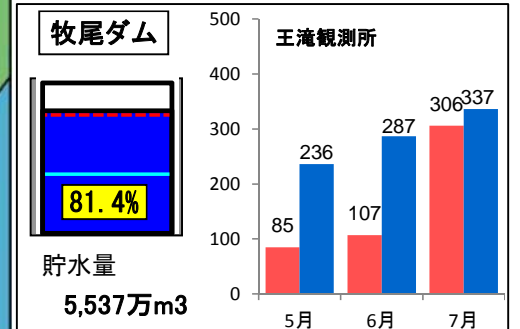
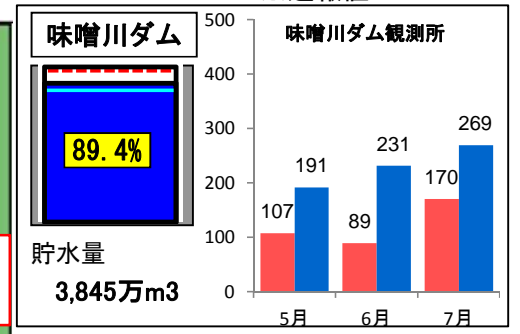
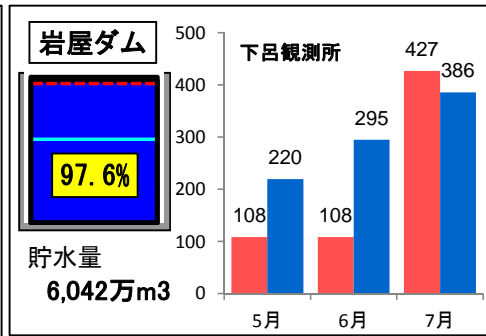
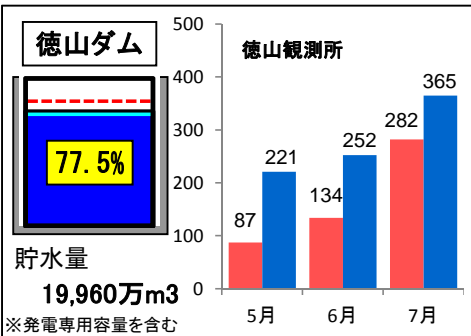
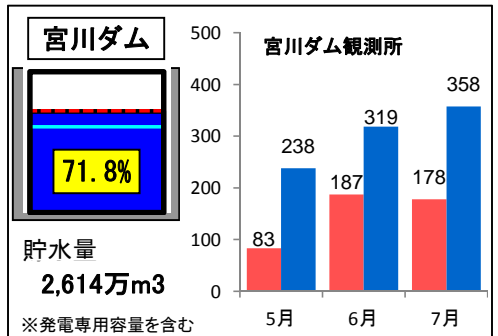
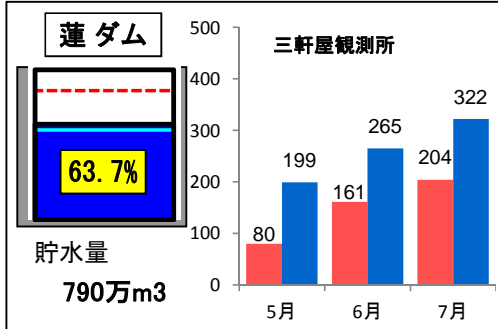
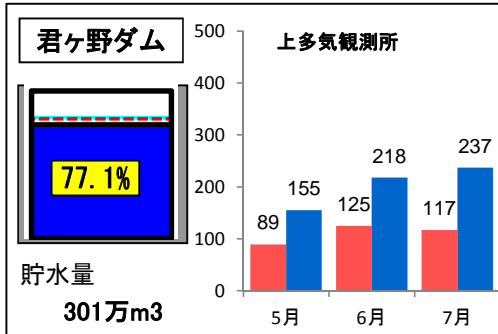


末端水路の状況
(必要水量の不足)



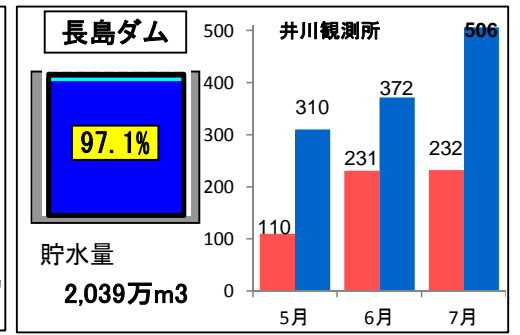
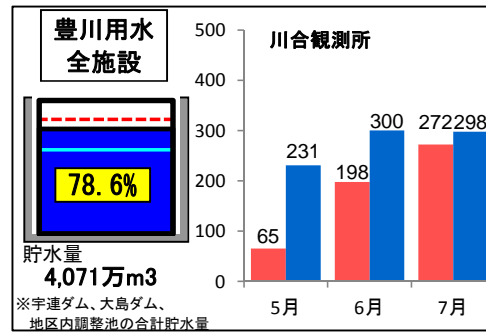
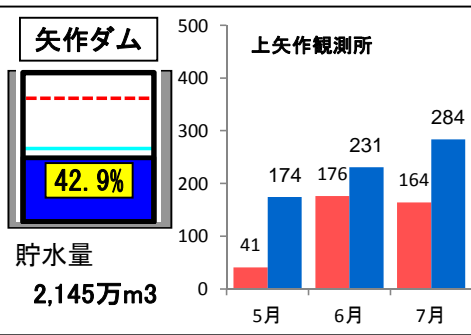
仮設ポンプによる汲み上げ状況
(水路の水量不足による対応)

【中部地方整備局管内の水源地貯水量及び降水量(H29.7.31現在)】



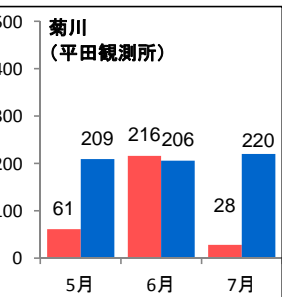
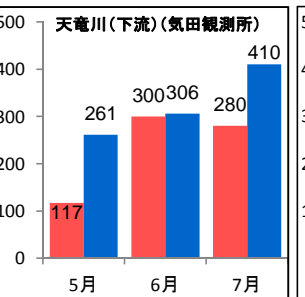
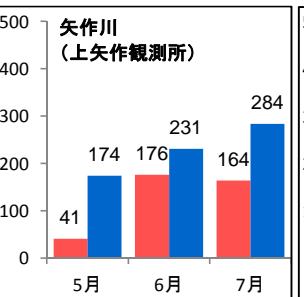
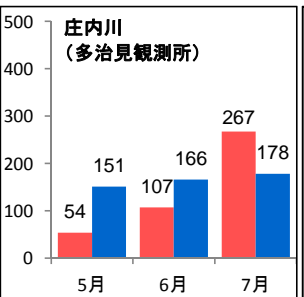
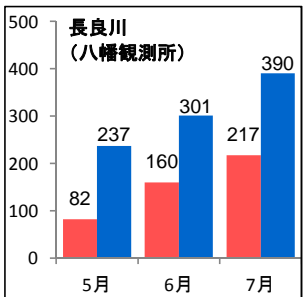
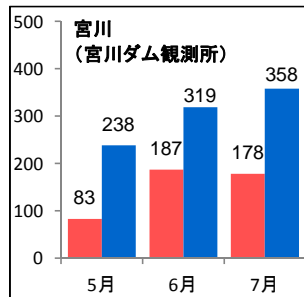
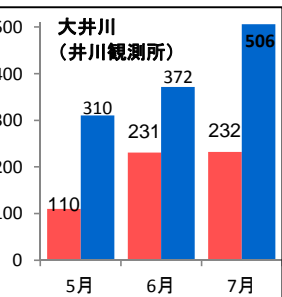
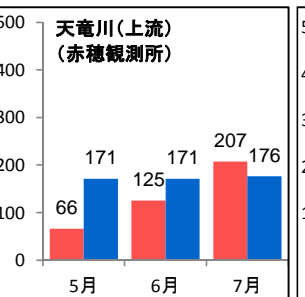
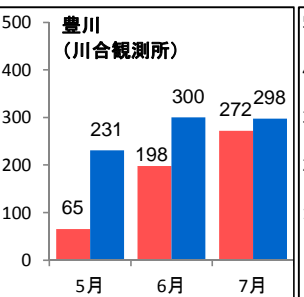
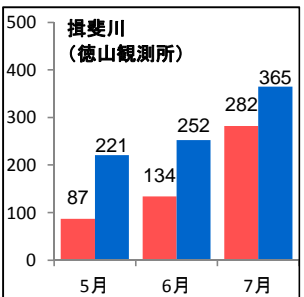
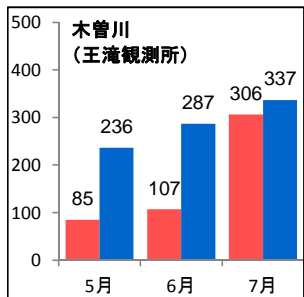
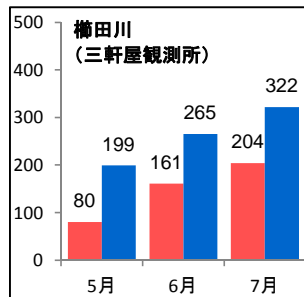
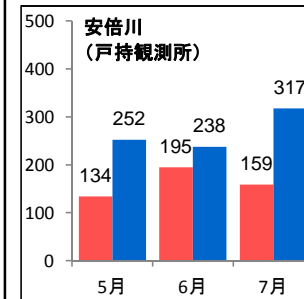
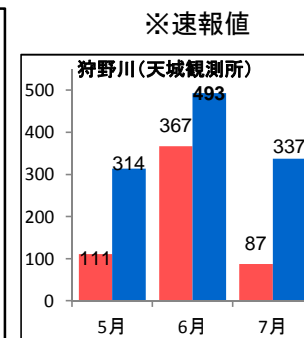
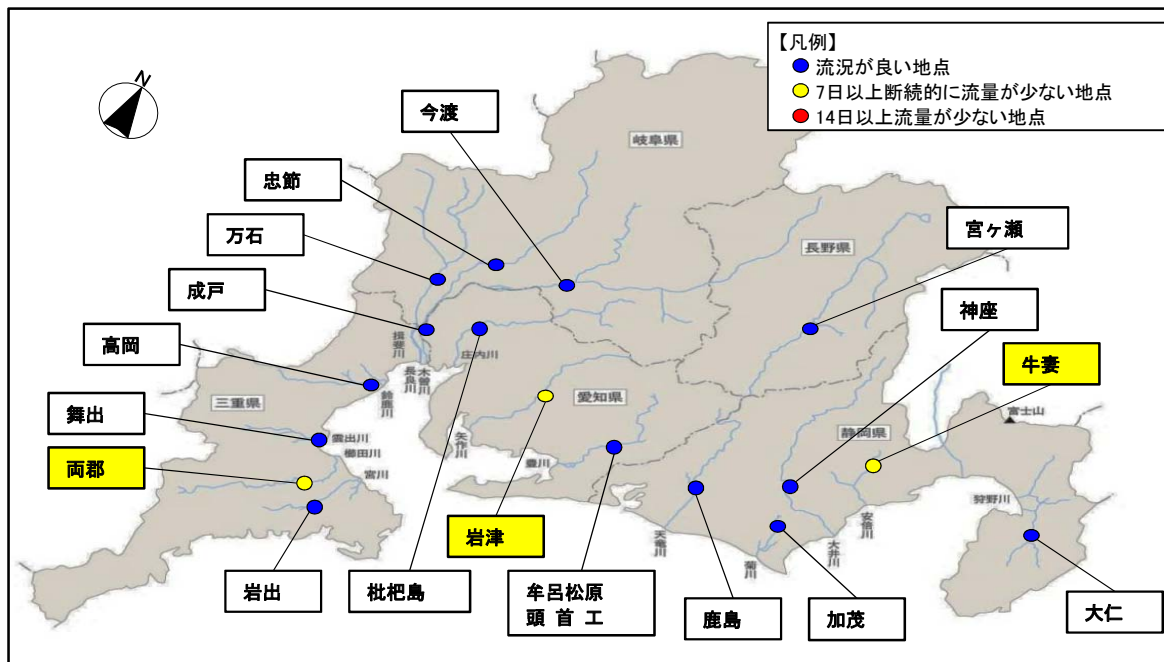
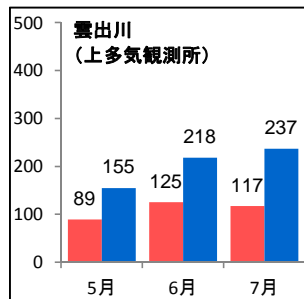
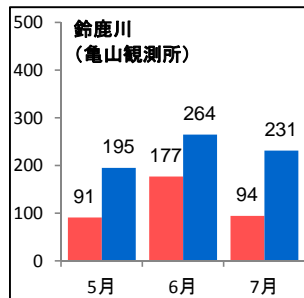
【凡例】

- 平年貯水率
- 7月1日の貯水量
※君ヶ野ダムは7月16日、宮川ダムは7月21日貯水量
- 計画利水容量(洪水調節と発電を除く容量)に対する貯水率(%)
- H29(mm)
- 平年値(mm)
※H29年の7月の降水量は、7月30日までの月累計



※ 宇連、大島、牧尾、岩屋、阿木川、味噌川、徳山ダムについては当日0時値。長島、矢作、君ヶ野、蓮、宮川ダムについては当日7時値。

【中部地方整備局管内の河川の流量及び降水量(H29.7.31現在)】



■ H29(mm) ■ 平年値(mm)

※H29年7月の降水量は、7月30日までの月累計

矢作川の渇水概要(7月31日時点)

渇水状況

- ・5月及び6月の降雨は平年の約54%、7月も現時点で平年の約58%と極端な少雨
- ・7月18日から正常流量を断続的に下回る状況
- ・河川流量の減少により、ダムからの補給量が増大し貯水量が減少
- ・矢作川水利調整協議会(※)を開催し、8月1日から取水制限の強化を決定(上水:20%、農水:30%、工水:40%)
- ※矢作川水利調整協議会・・・利水者や河川管理者、関係機関等により構成され、節水対策等の調整を行う

貯水池等の状況



矢作ダム 7月31日 貯水率 42.9%



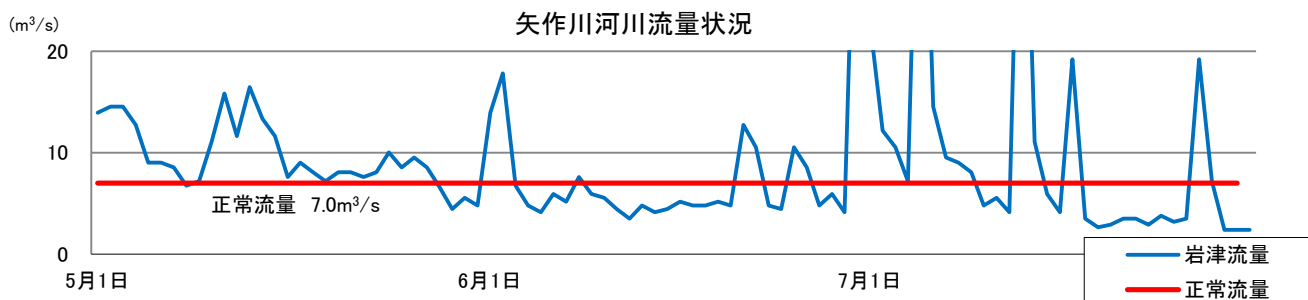
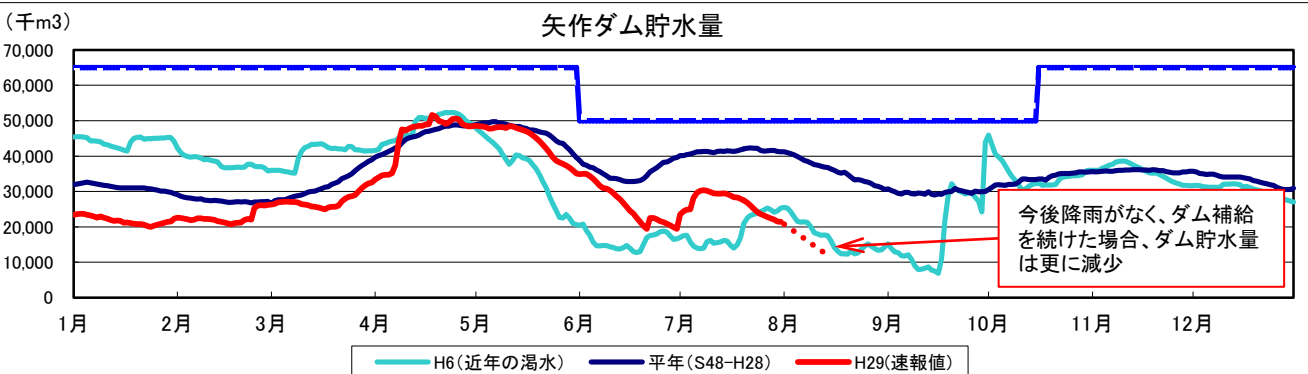
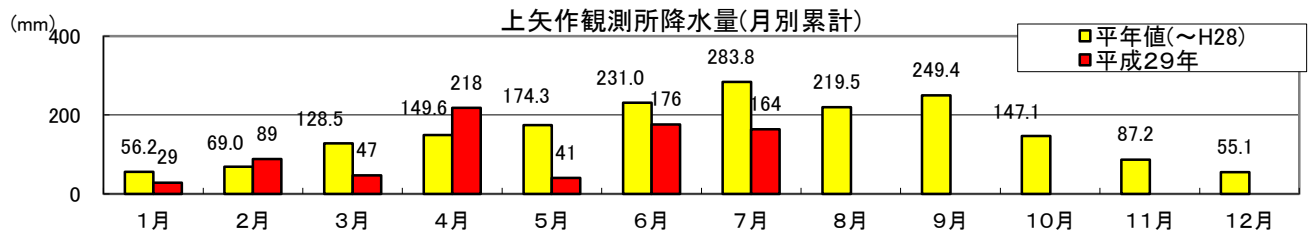
葵大橋上流(31.8kp)

6/26 岩津地点(29.2kp)流量 8.54m³/s
7/31 岩津地点(29.2kp)流量 2.38m³/s

矢作川から取水した水の供給先



降雨・貯水状況等



矢作川水系の渇水対応状況(7月31日時点)

対応状況

- ・7月24日に渇水対策支部設置
- ・7月25日から取水制限を開始(上水:10%、農水:20%、工水:30%)
- ・8月1日から取水制限を強化(上水:20%、農水:30%、工水:40%)
- ・7月24日以降、河川巡視を強化するとともに、渇水対策支部設置とあわせ河川環境への影響調査を実施。



水質調査実施状況



河川巡視状況



流量観測実施状況



自治体による節水PR

今後の対応

- ・利水者等関係機関との調整を継続
- ・水質調査等の河川への影響調査を引き続き実施
- ・その他必要な対応を実施

櫛田川の渇水概要(7月31日時点)

渇水状況

- 5月の降雨は平年の約40%、6月においても平年の約60%と少雨傾向。
- 7月の降雨は7月30日までの時点で、平年における月間累計雨量の約63%。
- 5月28日から渇水の目安となる流量を、断続的に下回る状況。
- 河川流量の減少により、ダムからの補給量が増大し貯水量が減少。

貯水池及び河川の状況

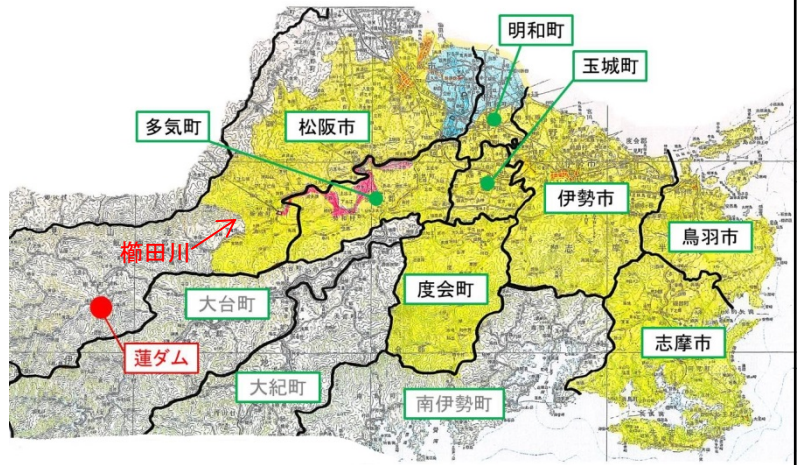


蓮ダム 7月31日 貯水率(利水)約64%
放流量 2.3m³/s



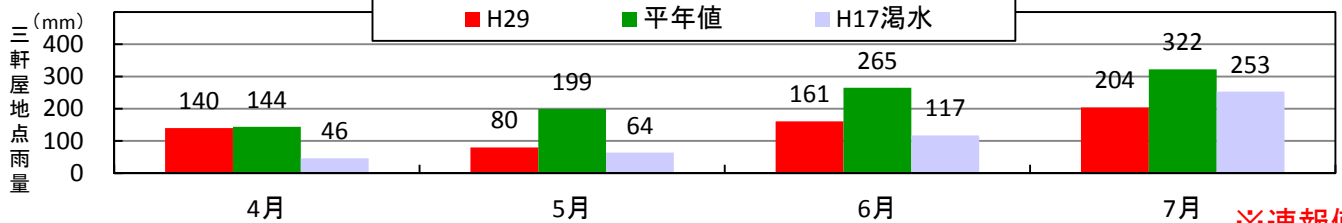
両郡橋上流 7月25日 河川流量5.6m³/s

蓮ダムの供給先

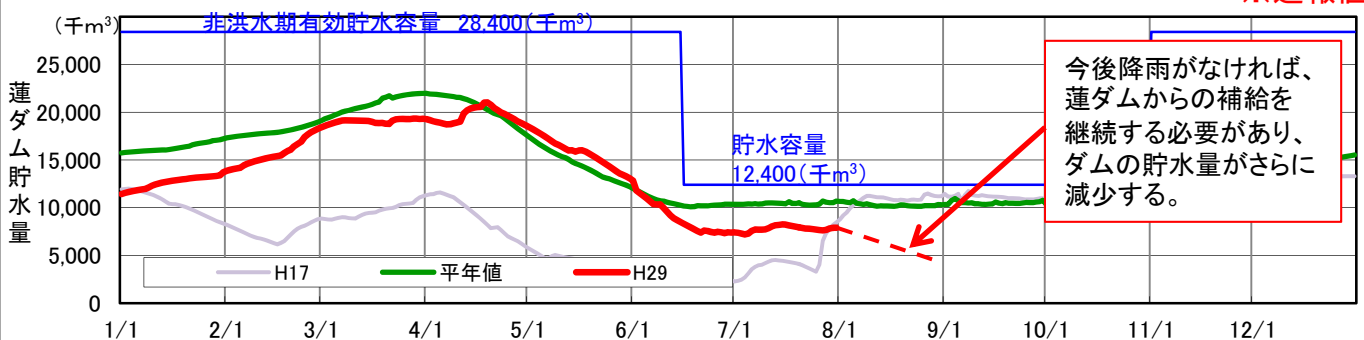


凡例	
松阪工業用水給水範囲	黄色
立梅用水受益範囲	緑色
櫛田川沿岸用水受益範囲	青色
南勢志摩水道用水給水範囲 (上記範囲含む)	白色

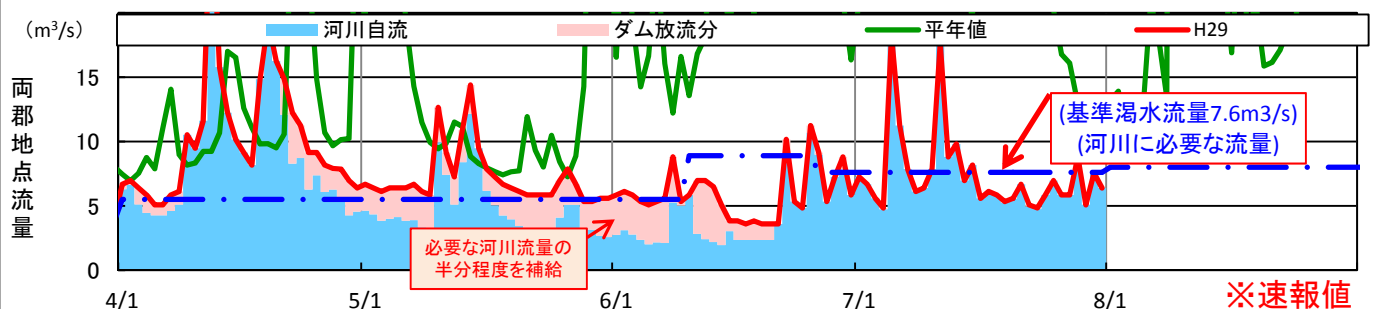
降雨・貯水状況等



※速報値



今後降雨がなければ、蓮ダムからの補給を継続する必要があり、ダムの貯水量がさらに減少する。



※速報値

櫛田川の渇水対応状況(7月31日時点)

これまでの対応状況

- 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
- 6月16日以降、河川巡視を強化するとともに、渇水対策支部設置とあわせ河川環境への影響調査を実施。
- 6月21日に櫛田川渇水調整協議会を開催し、蓮ダムの放流量を30%減量する措置を決定。利水者においても、自主節水等の渇水対応に取り組んでいる。

河川巡視実施状況(H29.6.27)



水質調査実施状況(H29.6.19)



農業用水路の末端まで水が行き届いていない状況(H29.6.28)



農家の対応状況(ほ場へのポンプによる汲み上げ)(H29.6.28)



今後の対応予定

- 天候及び河川の流況、並びに蓮ダムの貯水状況により、蓮ダムの放流量の調整、利水者間での調整を行う。

宮川の渇水概要(7月31日時点)

渇水状況

- ・ 5月の降雨は平年の約35%、6月においても平年の約60%と少雨傾向。
- ・ 7月の降雨は7月30日までの時点で、平年における月間累計雨量の約50%。
- ・ かんがい用水の不足により、4月28日より、宮川ダムから7,500千m³を上限とする不特定かんがい用水の補給を開始。
- ・ このままの状況が続けば宮川ダムの不特定かんがい用水7,500千m³を使い切るおそれがある。
- ・ 上記かんがい用水を使い切った場合、宮川ダムの発電用貯留水のうち、8月15日まで新たに5,100千m³を上限として融通。

かんがい用水地区内 ため池の状況

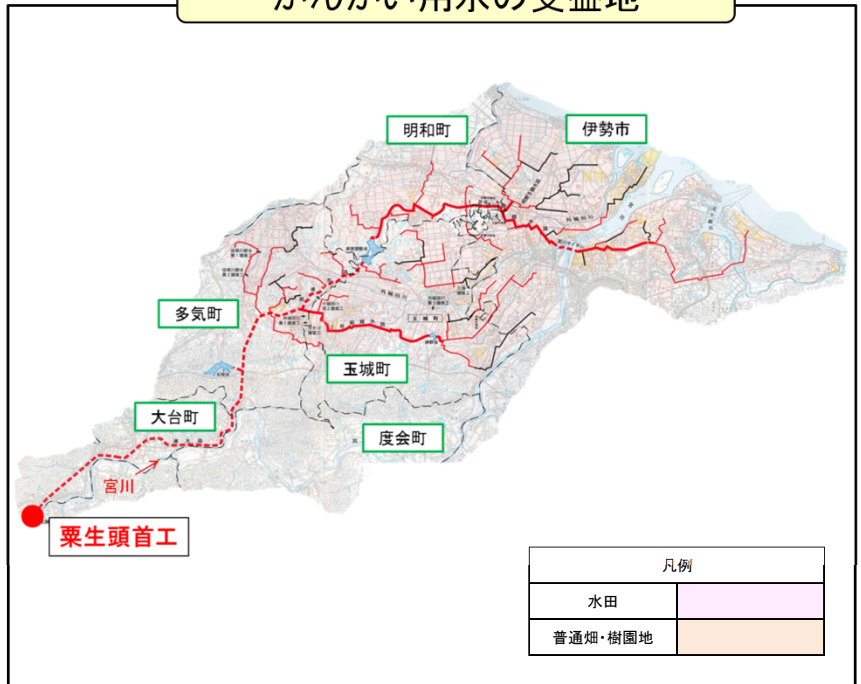


汁谷池 7月25日 貯水率:約25%

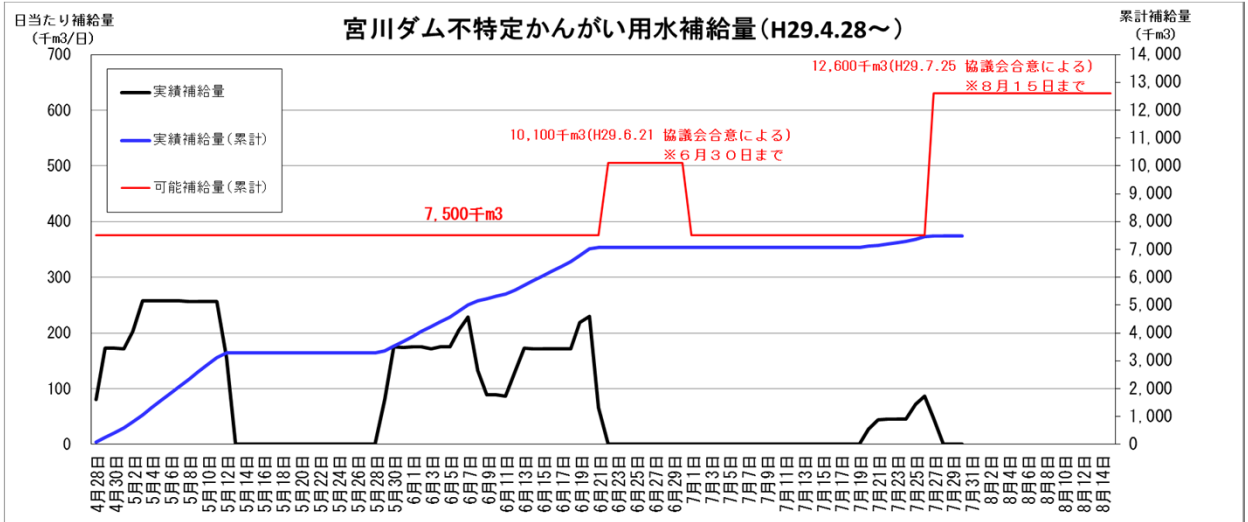
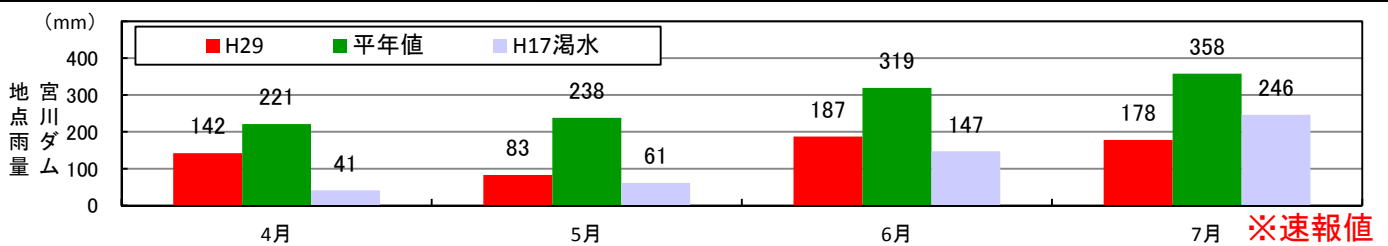


椴皮池 7月25日 貯水率:約30%

かんがい用水の受益地



降雨状況等

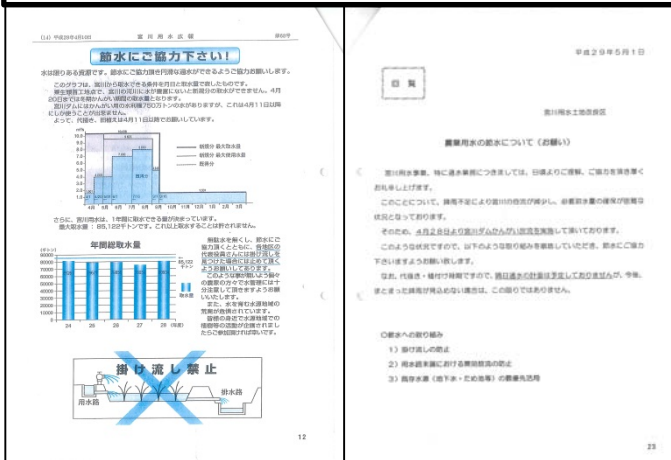


宮川の渇水対応状況(7月31日時点)

これまでの対応状況

- 3月より、宮川用水土地改良区が各路線地区委員会の場において本年の少雨状況を説明し、節水対策を指示。
- 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
- 6月21日に宮川渇水調整協議会を開催し、取水制限(上水:自主、農水:35%)及び、6月30日まで2,600千m³の範囲で宮川ダムの発電貯留量の一部をかんがい用水として融通を行う措置を決定。
- 7月25日の第2回宮川渇水調整協議会で、水利使用の調整。取水制限(上水:自主、農水:25%)等の措置を決定。

宮川用水による節水呼びかけの広報



宮川用水による水利権者への説明の様子



河川巡視実施状況(H29.6.19)



平成29年度 第1回宮川渇水調整協議会(H29.6.21)



今後の対応予定

- 関係者間の情報交換を密にする。
- かんがい用水の需要量及びダムの補給可能残量を毎日把握する。
- ダムの貯留水をかんがい用水のために再度融通する必要が生じた場合、利水者間での調整を行う。